

兵庫県但馬水産技術センターだより

貝毒情報(イワガキ) TKD-05-04 号

令和5年7月12日発行

プランクトン調査及び貝毒検査を7月10日～12日に実施しましたので、その結果をお知らせします。

【概況】

- ・貝毒検査(7/12)の結果、今回検査した地点では麻痺性貝毒は検出されませんでした。
- ・貝毒の原因となるプランクトンはごくわずかに確認されました。

【検査結果】

| | |
|---------------|---|
| 年月日 (採水・採取) | R5.7.10 |
| 地 点 (St.) | 浜坂 |
| 貝類の毒化状況 | 麻痺性貝毒[MU/g] |
| 麻痺性貝毒原因プランクトン | アレキサンドリウム カテナラ (旧称) <i>Alexandrium catenella</i> (新称 At complex (旧)A. catenella)(細胞/mL) |
| | ND |
| | 0 |
| 下痢性貝毒原因プランクトン | ディノフィシス フォルティ <i>Dinophysis fortii</i> (細胞/mL) |
| | 0.004 |
| | ディノフィシス アキュミナータ <i>Dinophysis acuminata</i> (細胞/mL) |
| | 0.002 |
| | ディノフィシス ミトラ <i>Dinophysis mitra</i> (細胞/mL) |
| | 0.008 |
| | ディノフィシス ロツンデータ <i>Dinophysis rotundata</i> (細胞/mL) |
| | 0.002 |

※NDとは検出限界値(2.0MU/g)未満のことです。※プランクトンは海水を濃縮して検鏡した密度です。



※プランクトン密度の単位は細胞/mLと表記。(海水1mLあたりのプランクトン細胞数)(mL:ミリリットル、1mLは1Lの千分の一)
貝毒については関係資料ウェブサイト(<https://www.hyogo-suigi.jp/wp-content/uploads/2020/11/kaidoku.pdf>)をご参照ください。

【今後の情報予定】

- ・8月上旬に調査を予定しています。調査結果がまとまり次第、「貝毒情報」としてお知らせします。

| | |
|-------------|--|
| § お問い合わせ先 § | 兵庫県立農林水産技術総合センター但馬水産技術センター (担当: 鈴木 Tel: 0796-36-0395) 兵庫県但馬県民局但馬水産事務所 (担当: 水産課・井筒 Tel: 0796-36-1153) ホームページ: https://www.hyogo-suigi.jp/tajima/ |
|-------------|--|